

地 理

地 理

第1問 次の図1は秋田県仙北市周辺を示した地形図である。図1および秋田県に関するあとの問い(問1～7)に答えなさい。



(2万5千分の1地形図「角館」, 平成18年更新, 80%縮小)

図1

問1 図1中のXは角館町の中心市街地で、城下町であったことが読み取れる。次の図2はその拡大図である。これについて述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

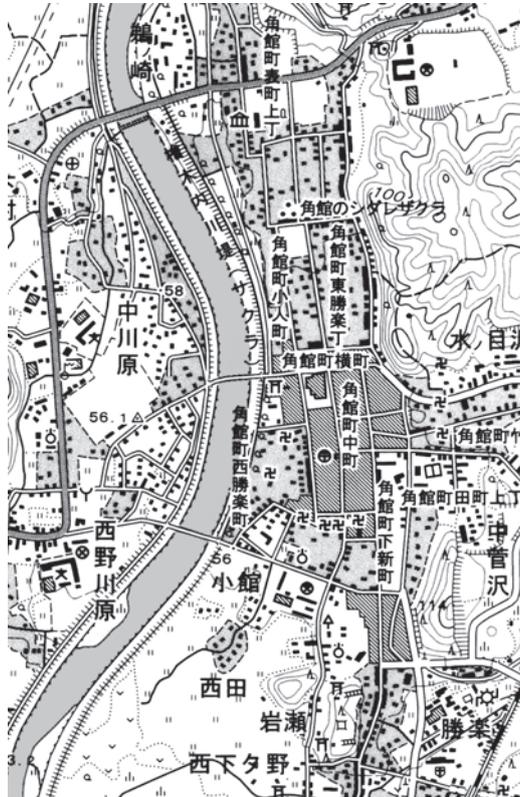


図2

- ① 中心市街地に町人の職業を表す地名が今でも残っている。
- ② 中心市街地の城跡を中心に街路が直線状に伸びている。
- ③ 中心市街地には寺院が集まっている場所が見られる。
- ④ 中心市街地に城郭の遺構を示す史跡や名勝が見られる。

問2 図1中のYは地形図上で一辺が約1.2cm、もう一辺が約0.8cmの長方形である。このYの面積に最も近い数値を、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 0.6ha ② 6ha ③ 60ha ④ 600ha

問3 図1中の線①～④のうち、尾根に該当するものを一つ選べ。

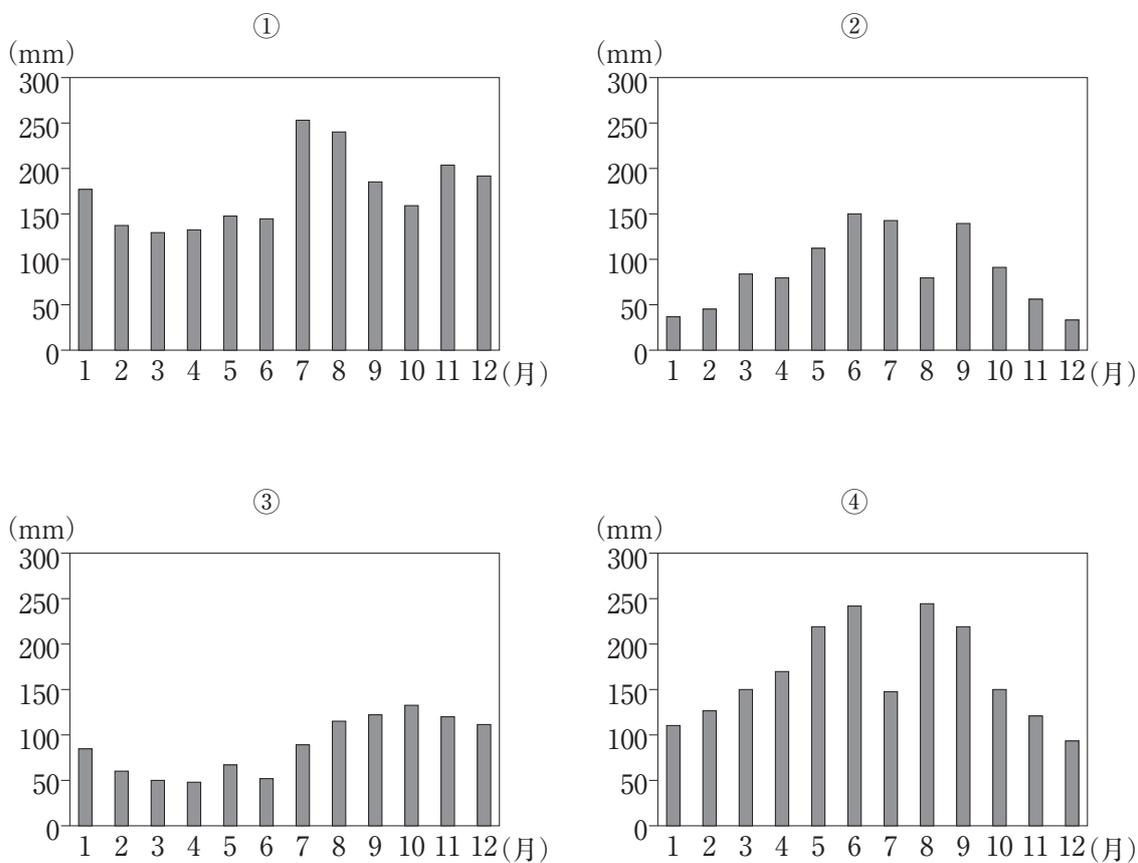
問4 図1の角館の中心市街地以外の地域(X以外の地域)について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 鉄道はすべて単線であり、「かくのだて」駅は高架ではない。
- ② 「川原」の集落は河川の右岸に位置する。
- ③ 自動車専用道路や道路のトンネルは見られない。
- ④ 「高森」などの入見内川の流域は洪積台地が形成されている。

問5 地域調査の手法について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 調査のテーマを設定するときには、調査の目的や意義を明らかにする。
- ② 現地調査の前に依頼状を発送し、現地で観察や聞き取り調査を行う。
- ③ 現地調査を行った後で、予備調査としてインターネットなどで統計を調べる。
- ④ 調査で得られた情報は、項目ごとに整理しグラフ化や地図化を行う。

問6 次の図3は角館町(秋田県仙北市), 稚内市(北海道), 多度津町(香川県), 名護市(沖縄県)の月別平均降水量を示したものである。角館町に該当するものを, 図3中の①~④のうちから一つ選べ。



(気象庁ホームページにより作成)

図3

問7 図1中の「かくのだて」駅に停車する秋田新幹線の列車の多くは秋田県, 岩手県, 宮城県, 福島県を通過している。次の表1はこの4つの県についての統計であるが, 岩手県に該当するものを表1中の①~④のうちから一つ選べ。

表1

	畜産の産出額(億円)	漁業の産出額(億円)	老年人口率(%)
①	1,483	384	30.4
②	509	95	28.7
③	743	737	25.7
④	352	35	33.8

統計は2015年。

(『データでみる県勢 2018年版』により作成)

第2問 次の図1を見て、世界の気候環境に関するあとの問い(問1～7)に答えなさい。



(Goode's World Atlas により作成)

図1

問1 図1中の点線Aは、ある気候要素の等値線を示している。点線Aとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 7月の降水量300mm
- ② 1月の降水量25mm
- ③ 7月の平均気温20℃
- ④ 1月の平均気温0℃

問2 図1中のB地点付近の植生について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 夏の乾燥に耐えうる硬い革質の細かい毛のある葉をもつ樹種が多い。
- ② 冬の乾燥に耐えうる硬い革質の細かい毛のある葉をもつ樹種が多い。
- ③ 夏の乾燥に耐えうる肉厚で表面に照りがある葉をもつ樹種が多い。
- ④ 冬の乾燥に耐えうる肉厚で表面に照りがある葉をもつ樹種が多い。

問3 次の図2は、図1中のほぼ同じ緯度のC～Eの3地点の最多雨月降水量と最少雨月降水量、年降水量を示したものである。C～Eとア～ウとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 10

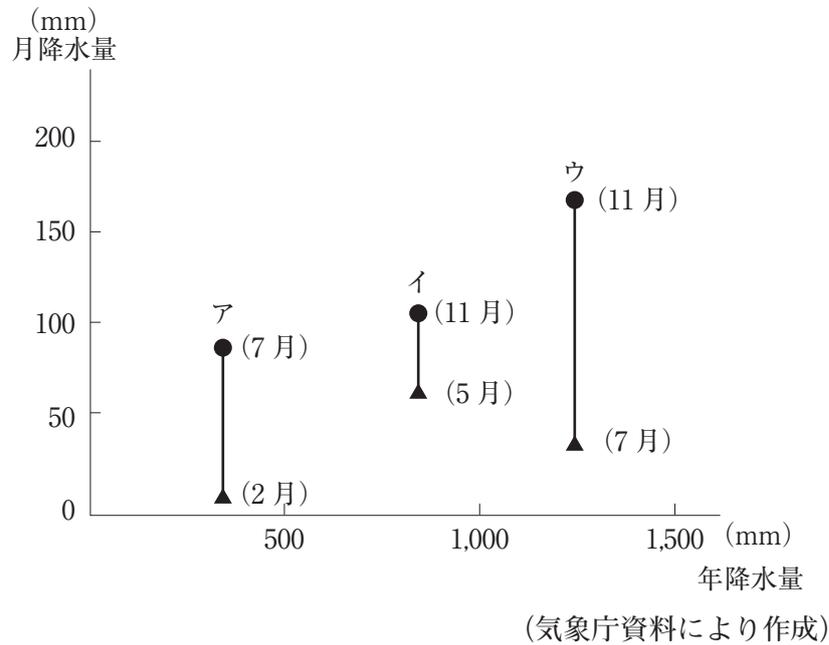


図2

	①	②	③	④	⑤	⑥
C	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
D	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
E	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問4 図1中のFにおける夏と冬の風向きについて述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 11

- ① 夏は比熱の大きい海洋から大陸へと風が吹く。
- ② 夏は比熱の小さい大陸から海洋へと風が吹く。
- ③ 冬は比熱の小さい海洋から大陸へと風が吹く。
- ④ 冬は比熱の大きい大陸から海洋へと風が吹く。

問5 図1中のG付近で進行した森林破壊の主な要因について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

- ① 人口の増加や流入を背景にサイクルが短縮した焼畑農地が拡大した。
- ② 油ヤシなどを生産するプランテーション農園の開発が進展した。
- ③ 輸出用の木材を獲得するために過剰な商用伐採が行われた。
- ④ 工業化に伴って需要が増大した鉄鉱石の露天掘りが本格化した。

問6 図1中のH, I付近の砂漠の共通の成因として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① 恒常風の風下に位置し、年間を通して乾燥した風が吹きつける。
- ② 沖合を流れる寒流の影響により、上空よりも地表の気温が低い現象が発生する。
- ③ 恒常風により、乾燥地域からの細かい粒子状の砂礫が運搬される。
- ④ 海洋からの湿気を含んだ風が、海岸に沿った山脈によりさえぎられる。

問7 図1中のX～Zに分布する一定の気候条件下で形成される成帯土壌の組合せとして最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 14

	①	②	③	④	⑤	⑥
チェルノーゼム	X	X	Y	Y	Z	Z
ポドゾル	Y	Z	X	Z	X	Y
ラトソル	Z	Y	Z	X	Y	X

第3問 世界の衣食住に関するあとの問い(問1～7)に答えなさい。

問1 下の文は、次の図1中の①～④のいずれかの地域における伝統的な衣服の特徴について述べたものである。図1中の①～④のうちから、該当するものを一つ選べ。 15



図1

冬や夜の気温が低い地域に住む先住民は、頭や首などから冷気が入るのを防ぐために、中央に首を通す穴のあいた毛織物の上着をまとっている。

問2 世界各地の高床式住居について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① 熱帯の高床式住居は、多湿性に合わせ通気をよくするために建てられる。
- ② 熱帯の高床式住居は、木材と日干しレンガなどを組み合わせて建てられる。
- ③ 東南アジアの熱帯では、ロングハウスと呼ばれる高床式住居も見られる。
- ④ 亜寒帯の地域でも、建物の熱が凍土を溶かさないようにした高床式住居が見られる。

問3 下のア～ウの文は、次の図2中のA～Cのいずれかの都市における食生活の習慣について述べたものである。ア～ウとA～Cとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

17



図2

- ア 左手は不浄の手とされ、食事の際は右手で食物を口に運ぶ。
- イ かつて南アジアを植民地支配していた影響で茶を飲む習慣がある。
- ウ ジャガイモを天日で干した保存食がつくられる。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	A	A	B	B	C	C
イ	B	C	A	C	A	B
ウ	C	B	C	A	B	A

問4 現在の日本で親しまれている料理に関して述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① 牛肉の入ったカレーライス、南アジアからイギリスを経由して日本に伝わった。
- ② ラーメンは小麦粉を原料とする中国の麺料理を起源とし、日本で独自の進化をとげた。
- ③ 植物油で揚げたトンカツは、ムスリムにとってハラール食品とみなされている。
- ④ 新鮮な魚介類などを用いた寿司は、健康志向も追い風となり海外でも人気がある。

問5 次の表1はオーストラリア、ノルウェー、バングラデシュ、ブラジルのいずれかの1人1日当たりの食料供給量について示したものである。表1中の①～④のうちから、ノルウェーに該当するものを一つ選べ。 19

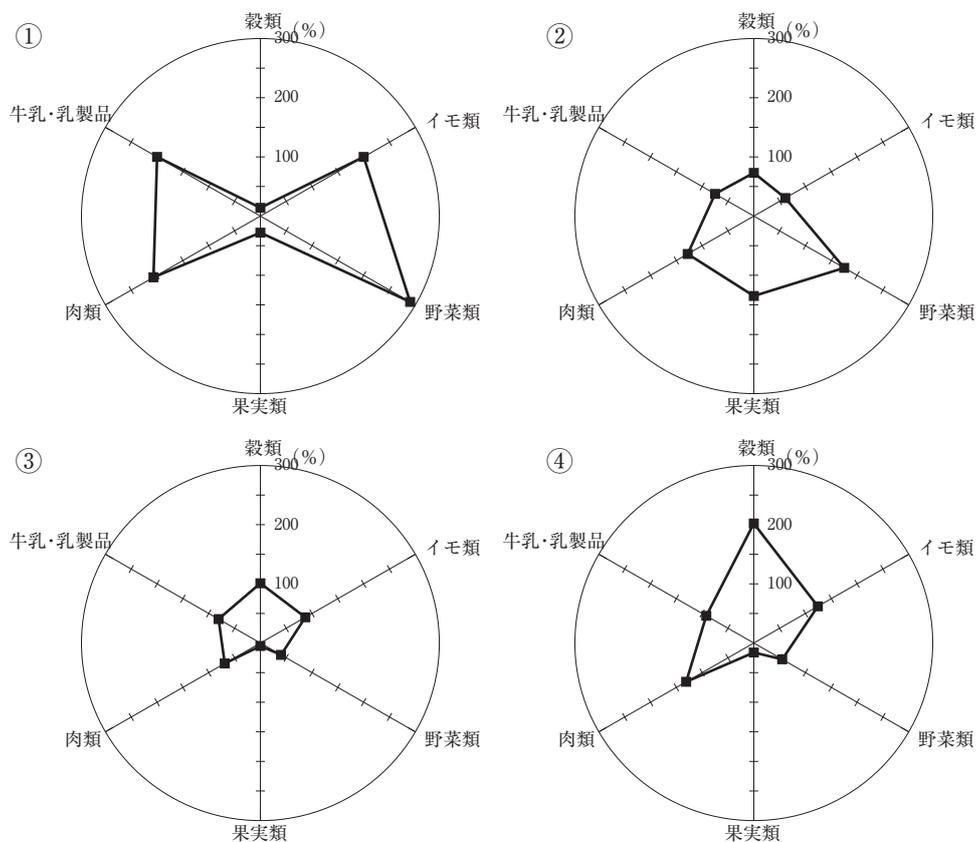
表1

	穀物	イモ類	野菜	肉類	牛乳・乳製品	魚介類
①	521	132	75	13	60	53
②	240	155	282	340	642	71
③	329	145	212	200	716	143
④	318	153	141	274	409	30

単位はg。統計は2013年。

(『世界国勢図会 2017/18年版』により作成)

問6 次の図3はイギリス、オランダ、スペイン、カナダのいずれかの食料自給率について示したものである。図3中の①～④のうちから、オランダに該当するものを一つ選べ。 20



単位は%。統計は2011年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2018年版』により作成)

図3

問7 食料問題に関する次の a, b の正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 21

- a 日本は食料生産における仮想水(バーチャルウォーター)が多いと考えられている。
- b トレーサビリティとは、肉牛を濃厚飼料で集中的に肥育する施設のことである。

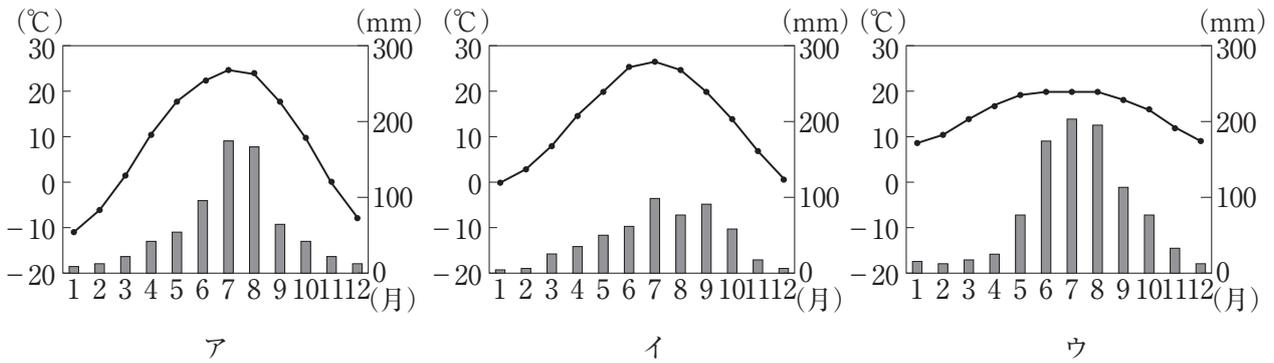
	①	②	③	④
a	正	正	誤	誤
b	正	誤	正	誤

第4問 次の図1を見て、中国に関するあとの問い(問1～7)に答えなさい。



図1

問1 次の図2のア～ウは、図1中のA～Cの地点の月平均気温と月降水量を示している。A～Cとア～ウとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 22



(気象庁資料により作成)

図2

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
B	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
C	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問2 図1中のDの地域の産業について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① 中国有数の石炭の産地であり、大規模な露天掘りの炭田が開発されている。
- ② 近隣の山脈を水源とする河川により水稲と冬小麦の二毛作が行われている。
- ③ 乾燥した短草草原では遊牧民による羊や馬などの遊牧が行われている。
- ④ 安価で豊富な電力に恵まれ、銅やアルミニウムなどの金属加工が盛んとなった。

問3 図1中のE付近を源流とする河川F、Gについて述べた次の文a～dについて、内容が適当なものの組合せを下の①～④のうちから一つ選べ。 24

- a Fの河川は、急流が各地にあり下流も河床が高いため、水運ではあまり活用されていない。
- b Fの河川は、中流域でチョワン族が漢民族より多い自治区を流れている。
- c Gの河川は、スーチョワン盆地のウーハン付近まで大型船舶が航行可能である。
- d Gの河川から、降水量が少ないFの河川流域やペキン付近まで送水されている。

- ① a, c ② a, d ③ b, c ④ b, d

問4 次の表1は、図1中のP～Sのいずれかの省の農業生産について示したものである。Rの省に該当するものを、表1中の①～④のうちから一つ選べ。 25

表1

	米	小麦	トウモロコシ
①	1,558	413	793
②	2,255	29	3,127
③	1,402	1,386	462
④	55	1,433	1,754

単位は万t。統計は2016年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2018年版』により作成)

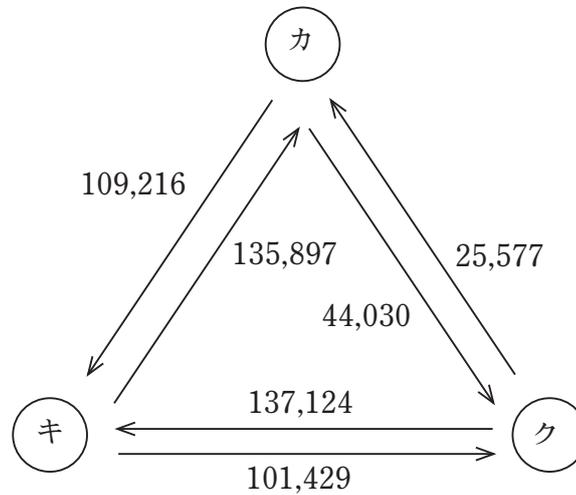
問5 図1中Xは中国の首都ペキンである。ペキンについて述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① かつての皇帝の居城を中心とした城郭都市で、市内の街路は直交型である。
- ② 2008年には中国で初めてのオリンピックが開催され開発が進んだ。
- ③ 郊外の経済特区として指定された地域では製造業が発達し、出稼ぎ労働者が多い。
- ④ 人口増加とともに大気汚染が深刻化し、PM2.5による人体への影響も懸念された。

問6 図1中のYであるホンコンについて述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① イギリスからマカオと同時に中国へ返還された。
- ② ホンコン特別行政区は、中国の他の省や自治区とは異なった扱いを受けている。
- ③ 中継貿易港として発達したが、近年は近隣のシェンチェンに貿易港が移転した。
- ④ アジアNIEsとして工業化が進展したが、中国を代表する陶磁器の産地でもある。

問7 中国は経済発展とともに貿易額も急増した。次の図3は中国との貿易額が多い日本，韓国との間の輸出入額を表している。図3中のカ～クと国名との組合せとして最も適当なものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 28



単位は百万ドル。統計は2015年。

(『世界国勢図会 2017/18年版』により作成)

図3

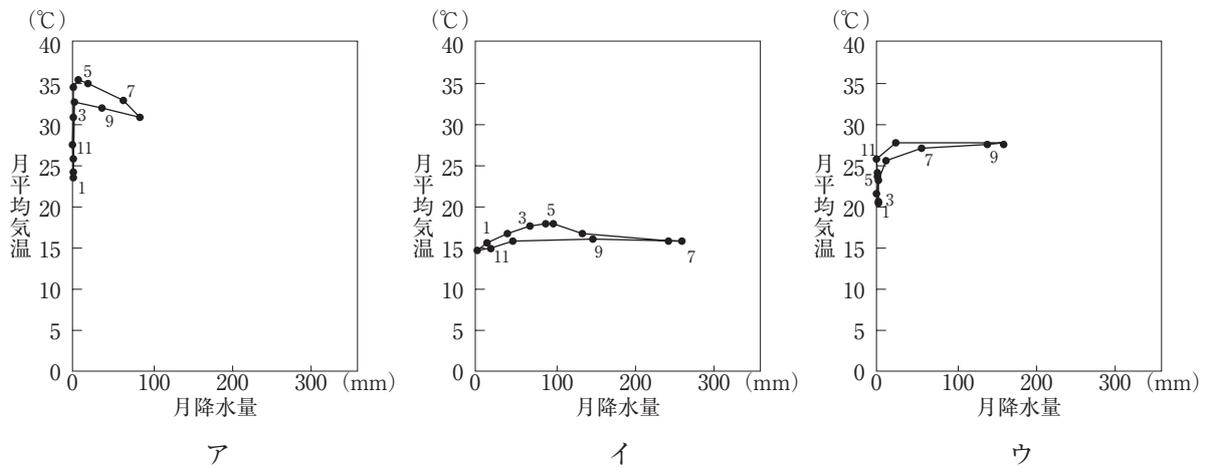
	①	②	③	④	⑤	⑥
中国	カ	カ	キ	キ	ク	ク
日本	キ	ク	カ	ク	カ	キ
韓国	ク	キ	ク	カ	キ	カ

第5問 次の図1を見て、アフリカ大陸に関するあとの問い(問1～7)に答えなさい。



図1

問1 次の図2のア～ウは、図1中のA～Cの地点のハイサーグラフである。A～Cとア～ウとの組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 29



(気象庁資料により作成)

図2

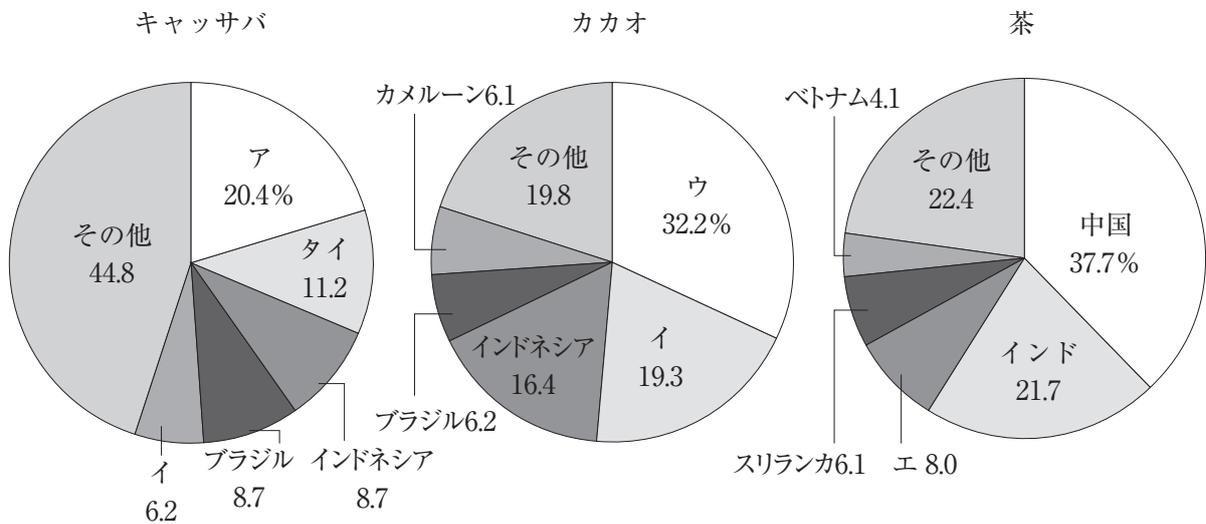
	①	②	③	④	⑤	⑥
A	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
B	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
C	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問2 図1中のDの湖の成因について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 長期間の断層運動によって形成されたくぼ地に水がたまった。
- ② かつて覆われていた大陸氷河により削られたくぼ地に水がたまった。
- ③ 地盤が緩やかに沈降して形成された曲降盆地の一部に水がたまった。
- ④ 付近の火山活動で地盤が吹き飛んで形成されたくぼ地に水がたまった。

問3 次の図3は主要な農産物の生産上位国であるが、図3中のア～エは図1中のE～Hのいずれかである。図3中のア～エのうち、Fに該当するものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

31



統計は2014年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2018年版』により作成)

図3

- ① ア ② イ ③ ウ ④ エ

問4 図1中のLの地域は、ある鉱産資源の世界的産地として知られている。その鉱産資源の産出上位国を示した表として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

①

国名	%
オーストラリア	32.7
ブラジル	18.3
中国	17.8
インド	5.6

②

国名	%
チリ	31.1
中国	9.5
ペルー	7.5
アメリカ合衆国	7.4

③

国名	%
メキシコ	18.7
中国	15.1
ペルー	14.1
オーストラリア	6.4

④

国名	%
中国	15.0
オーストラリア	9.1
ロシア	8.2
アメリカ合衆国	7.0

統計は2014年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2018年版』により作成)

問5 次の図4・図5は、南アメリカ大陸とアフリカ大陸の言語分布(各国のおもな公用語)を示しており、下の①～④はアラビア語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語のいずれかである。ポルトガル語に該当するものを、①～④のうちから一つ選べ。 33



図4



図5

- ① ② ③ ④

問6 図1中のXの国から日本への輸出上位5品目と、総輸出額に対する割合を示した表として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

①

輸出品	%
揮発油	41.1
液化天然ガス	14.7
電気機器	8.9
野菜と果実	7.2
衣類と同付属品	5.6

②

輸出品	%
たこ	41.5
衣類と同付属品	18.3
まぐろ	8.1
いか	8.1
動物性原材料	4.8

③

輸出品	%
原油	52.0
マンガン鉱	40.6
合金鉄	6.7
製材	0.5
アルミニウムと同合金	0.1

④

輸出品	%
白金	29.0
パラジウム	14.3
乗用車	12.6
鉄鉱石	7.1
合金鉄	6.9

統計は2016年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2018年版』により作成)

問7 アフリカ諸国の現状や課題について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 直線的に引かれた国境は旧宗主国の都合で決められたものが多く、民族や文化の境界は無視され紛争や対立の絶えない国が多い。
- ② 現在でもアフリカ諸国は旧宗主国だったヨーロッパ諸国とは経済的に交流が深く、旧宗主国が最大の輸入相手国である国が大半である。
- ③ 2002年にAU(アフリカ連合)が発足し、EUをモデルとした50か国以上の国家統合体として経済成長や貧困撲滅などを目標としている。
- ④ 植民地支配を受けていた時期に宗主国への一次産品の供給地とされていた国々は、独立後もその地域が変わらず工業化が進展しにくい。

(地理の問題は終わり)